

令和元年度 全国学習状況調査 生活状況等分析

1 基本的な生活習慣

(1) 生活のリズム

- ・ほとんどの生徒は、起床時刻が決まっている。
- ・就寝時間があまり決まっていない生徒が、4割近くいる。
- ・4割近い生徒は就寝時刻が遅く、夜更かしをしており、朝も定時に起きることができていない。
- ・ほとんどの生徒が、毎日朝食をとっている。

(2) ゲームやインターネット

- ・スマートフォンを持っている生徒は約8割以上。過去最高である。
- ・ほとんどの生徒が、放課後、TV、YouTube、インターネット、SNSの利用に時間を費やしている。

(3) 放課後の生活

- ・放課後、ほとんどの生徒が部活動参加しており、所属していない生徒も社会体育活動に参加している。

2 学習習慣

(1) 家庭学習の時間

- ・計画的に家庭学習に取り組んでいる生徒は3割弱である。
- ・1時間を越えて学習する生徒が少なく、1時間以内と答えた生徒は、約6割である。全国・県と比較しても家庭学習の時間が不足している。

(2) 読書・新聞等

- ・読書が好きと答えた生徒は2割で、半数の生徒があまり好んでいない。
- ・半数以上の生徒が学校以外で読書をまったくしていない。
- ・学校や地域の図書館を利用しない生徒の割合が高く、ほとんどの生徒が、まったく行っていない。
- ・約7割が新聞を読んでいない。

3 学校生活と学習

- ・学校へ行くのが楽しいと感じている生徒は6割程度である。
- ・「先生は、貴方のよい所を認めてくれていると思いますか」の問いに対して、当てはまらないと回答した生徒が3割を越えている。
- ・「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに対して協力し、嬉しかったことがありますか」の問いに対して、当てはまらないと回答した生徒が4割いる。
- ・「人が困っているとき進んで助けますか」の問いに対して、当てはまらないと回答した生徒が4割いる。

4 人・地域との関わり

- ・ほとんどの生徒が地域の行事やボランティア活動に参加している。
- ・保護者の学校行事等への参加率は、極めて高い。
- ・「外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知りたいと思いますか」の問いに対して、当てはまらないと回答した生徒が半数以上いる。

5 生徒の意識

全体的に建設的・向上的な自尊感情的な意識が低い回答率となっている。しかし、学校職員が生徒たちと接していて、彼らの態度や様子と大きくかけ離れていると感じている。ただ、同じ対象生徒への経年的調査結果によると改善傾向にある。

つまり、生徒たちの総体的な傾向として、自尊感情がかなり低く自信がない様子であるがために、本調査の「生徒質問用紙」を回答するにあっても自信を持って「当てはまる」の項目に印をつけられないしていると推察している。